

タウントーク

あなたの街で

市長と語ろう!



今月は、東区のタウントークの様をお伝えします。2月28日に東区民センターで開催された「コミュニティマーケットin東区(COME)」を市長が訪問し、タウントークが行われました。

●タウントークに関するお問い合わせは、区役所(17ページ)の総務企画課か市民の声を聞く課☎211-2042へ。内容は、市長のホームページ<http://www.city.sapporo.jp/city/mayor/>からもご覧いただけます。

東区タウントーク 「地域の力が集まって、市民活動でまちづくり」

COMEは、東区で活動している市民団体が日ごろの活動を発表するイベントです。当日は環境、福祉、健康、スポーツなどさまざまなテーマのブースが並びました。市長はこま回しをしたり、折り紙でひな人形を作ったりしながら参加団体のブースを見学し、区民の皆さんとの交流を楽しみました。

見学後に行われたタウントークでは、「市民活動によるまちづくり」をテーマに、手話通訳を交えた意見交換が行われました。

◆**タクタク小出陽平さん**
足を使った「セパタクロー」という、バレーボールに似た室内スポーツをする団体です。札幌で、冬も安全で手軽な室内スポーツを活性化していくことを提案しています。セパタクローを札幌に根付いた地域のスポーツにしたいです。

◆**市長から** 運動は何より「楽しむ」ことがポイントですね。今まであまり知られていないスポーツを広めていくのは、素晴らしいことです。市でも、いろいろな機会で紹介していくお手伝いできると思います。

◆**子育て支援ワーカーズ「プチトマト」喜多洋子さん**

都市化が進む中、孤立した状態での子育てが進んでいます。全国的に行われている、公設民営での子育て支援施設の運営を、札幌でも実現してほしいです。指定管理者制度というやり方もあります。公約の子育てプラザ開設時には、私たち現場の声も取り入れてほしいです。

◆**市長から** 子育て支援施設は公設民営でも良いと思います。指定管理者制度は柔軟な管理・運営ができるので、視野に入れて考えたいですね。子育てプラザ開設のため「子ども未来局」を中心に取り組みを進めます。



資生館小学校に「子育て支援センター」が併設されますので、ぜひご協力下さい。

◆**「ハンマダン」金時江さん**

地域に住む在日韓国人としてお祭りを開催しました。外国からの移住者が祖国の文化を地域の中で発信・交流することで、まちづくりに参加していただきたいと思います。

◆**市長から** 価値や文化の多様性を互いに認め合うのが大事です。意見や考え方の多様性があつてこそ社会もよくなるのだと思います。互いを認め合う心豊かな文化をつくっていききたいですね。

◆**一般参加の市民から**

私は障がいがあり、無料パスの交付を受けていますが、冬はタクシーで移動せざるをえません。今は無料パスがタクシィチケットのいずれかが交付されず、冬に出掛けるなど言われているのと同じです。両方を配布してもらえないでしょうか。

◆**市長から** 障がいのある方々の政策提言グループにこの話題を提供します。障がいのある方が「冬は出掛けるな」という感想を持たれるのは悲しいことです。少しずつ改善していきます。よう議論していきます。



※ 体育館、図書館など公の施設の管理を、従来認められていなかった民間に拡大し、サービスの向上と経費の削減を図る制度。